

物質フロー及び物質フロー指標（循環利用率、最終処分量）（速報値）

1 我が国における物質フロー（平成 16 年度速報値）

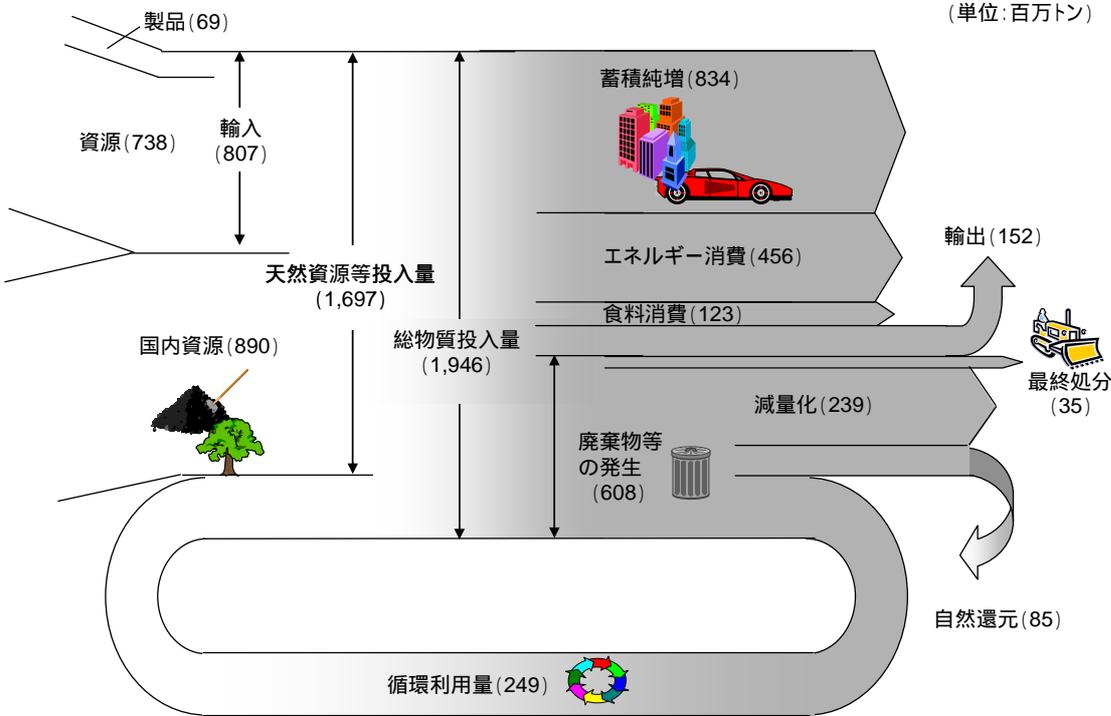
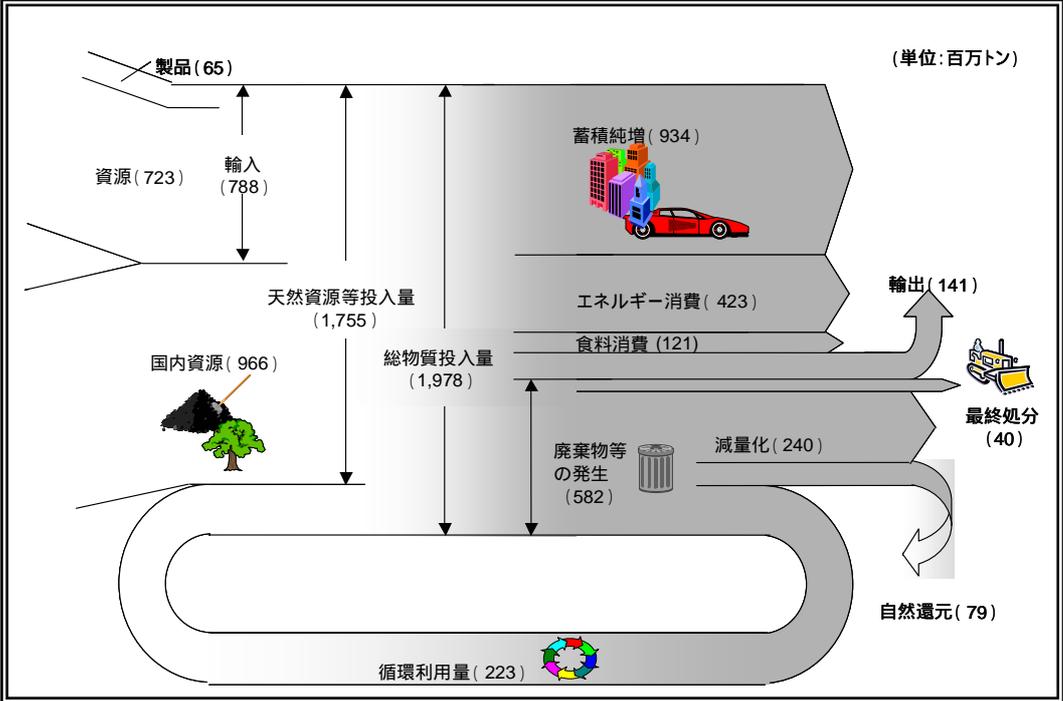


図 1 我が国における物質フローの模式図（平成 16 年度速報値）

< 参考 > 我が国における物質フローの模式図（平成 15 年度）



2 循環利用率、最終処分量の推計結果（速報値）

2.1 循環利用率の推計結果

循環利用率（＝循環利用量／（循環利用量＋天然資源等投入量））が約 11.3%（平成 15 年度）から約 12.8%（平成 16 年度）に増加した。前年度比プラス 13%、平成 12 年度比プラス 28%。

【目標】循環利用率を平成 22 年度において、約 14%とすることを目標とします（平成 2 年度《約 7%》から概ね 8 割向上、平成 12 年度《約 10%》から概ね 4 割向上）。

（出所：循環型社会形成推進基本計画）

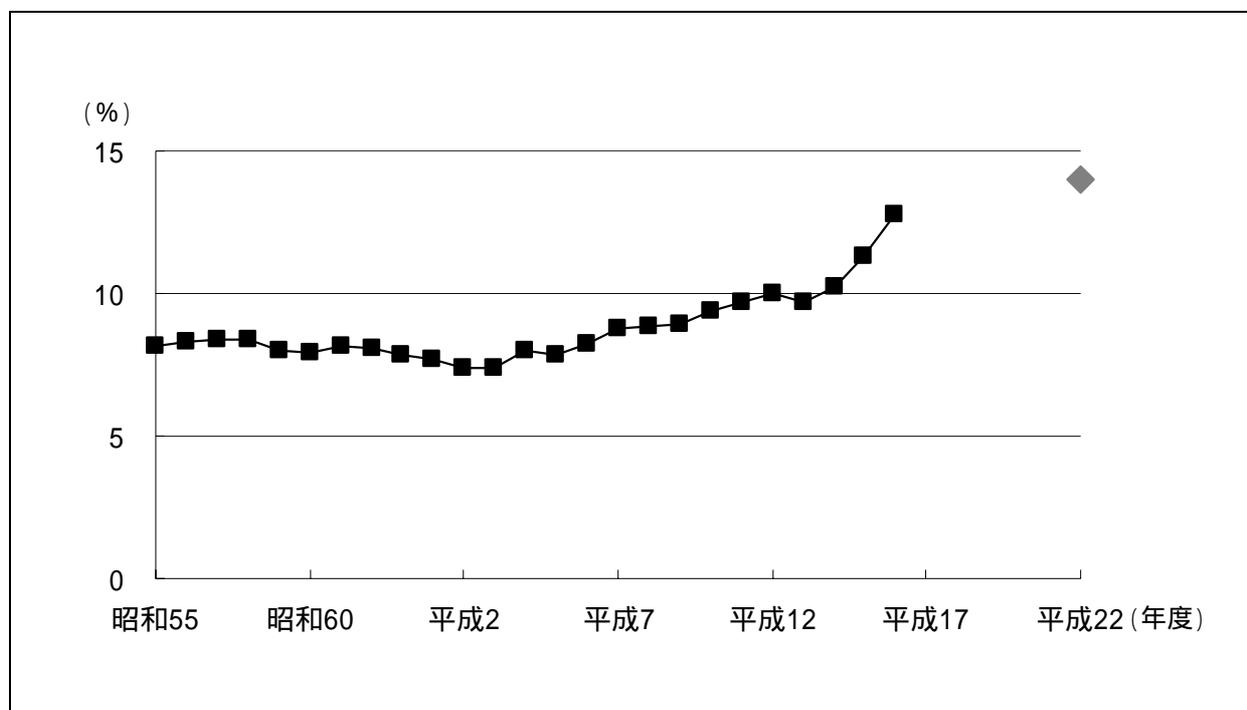


図 2 循環利用率（速報値）の推移

2.2 最終処分量の推計結果

最終処分量が約 40 百万トン（平成 15 年度）から約 35 百万トン（平成 16 年度）に減少した。前年度比マイナス 13%、平成 12 年度比マイナス 39%。

【目標】最終処分量を平成 22 年度において、約 28 百万トンとすることを目標とします（平成 2 年度《約 110 百万トン》から概ね 75% 減、平成 12 年度《約 56 百万トン》から概ね半減）。

（出所：循環型社会形成推進基本計画）

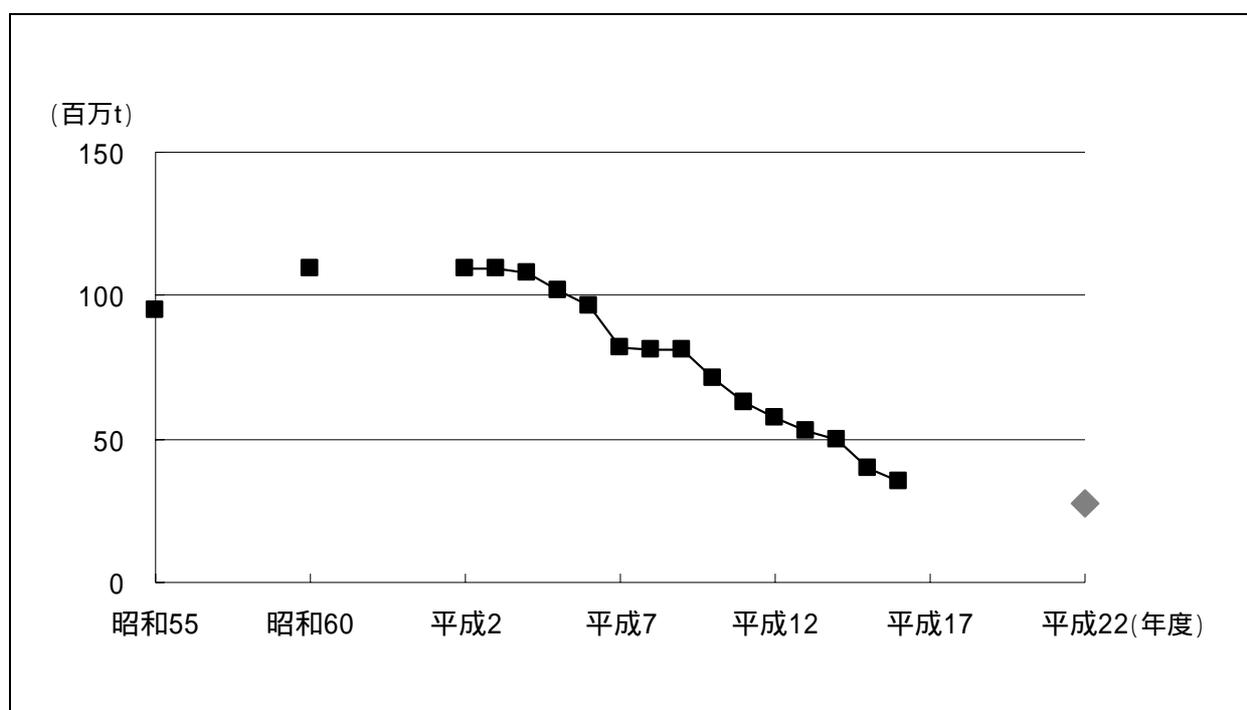


図 3 最終処分量（速報値）の推移

3 循環利用率の内訳

天然資源等投入量の減少と循環利用量の増加により、循環利用率は増加している。

表 1 循環利用率の推移

	単位	平成 12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度 (速報値)
循環利用率	%	10.0	9.7	10.2	11.3	12.8
循環利用量	百万トン	213	207	212	223	249
天然資源等投入量	百万トン	1,912	1,926	1,858	1,755	1,697

種類別に見ると、鉱さい、がれき、ばいじんが大きく増加している。

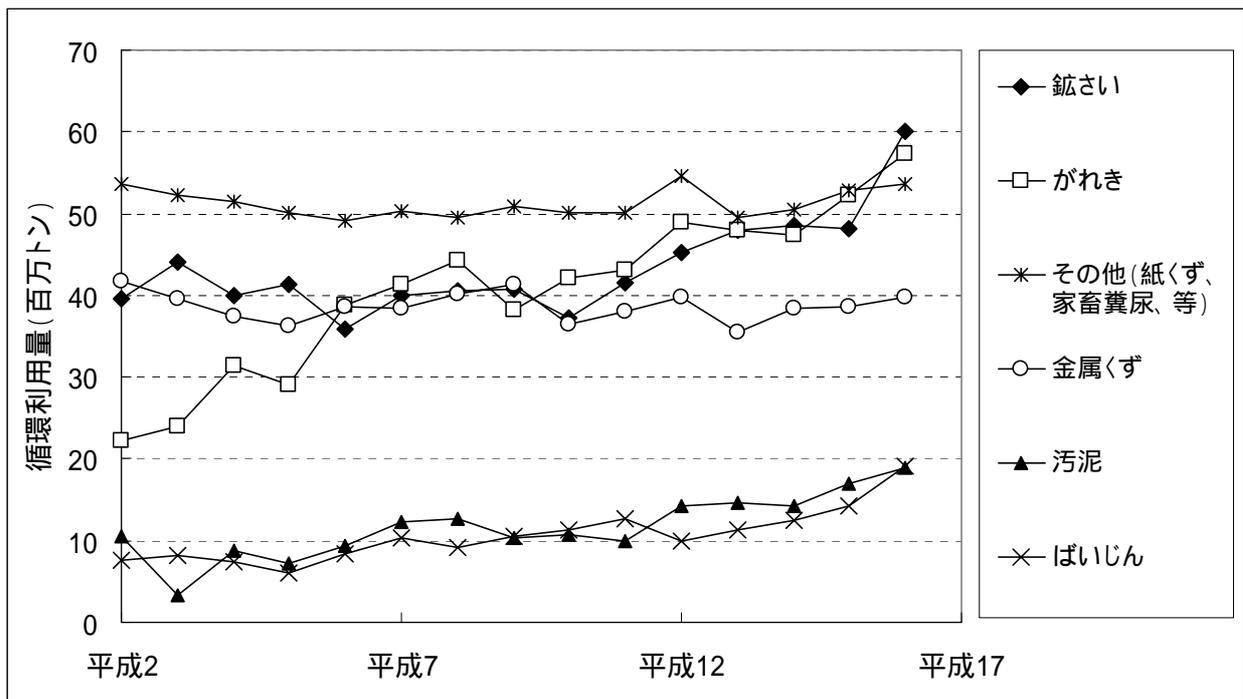


図 4 循環利用量 (速報値) の内訳の推移

4 最終処分量の内訳

一般廃棄物、産業廃棄物とも減少している。

表 2 最終処分量の推移

		単位	2年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度 (速報値)
一般廃棄物	最終処分量	百万トン	20	12	11	10	10	9
産業廃棄物	最終処分量	百万トン	89	45	42	40	30	26
合計	最終処分量	百万トン	109	57	53	50	40	35

産業廃棄物の最終処分量を種類別に見ると、汚泥とがれきの減少が大きい。

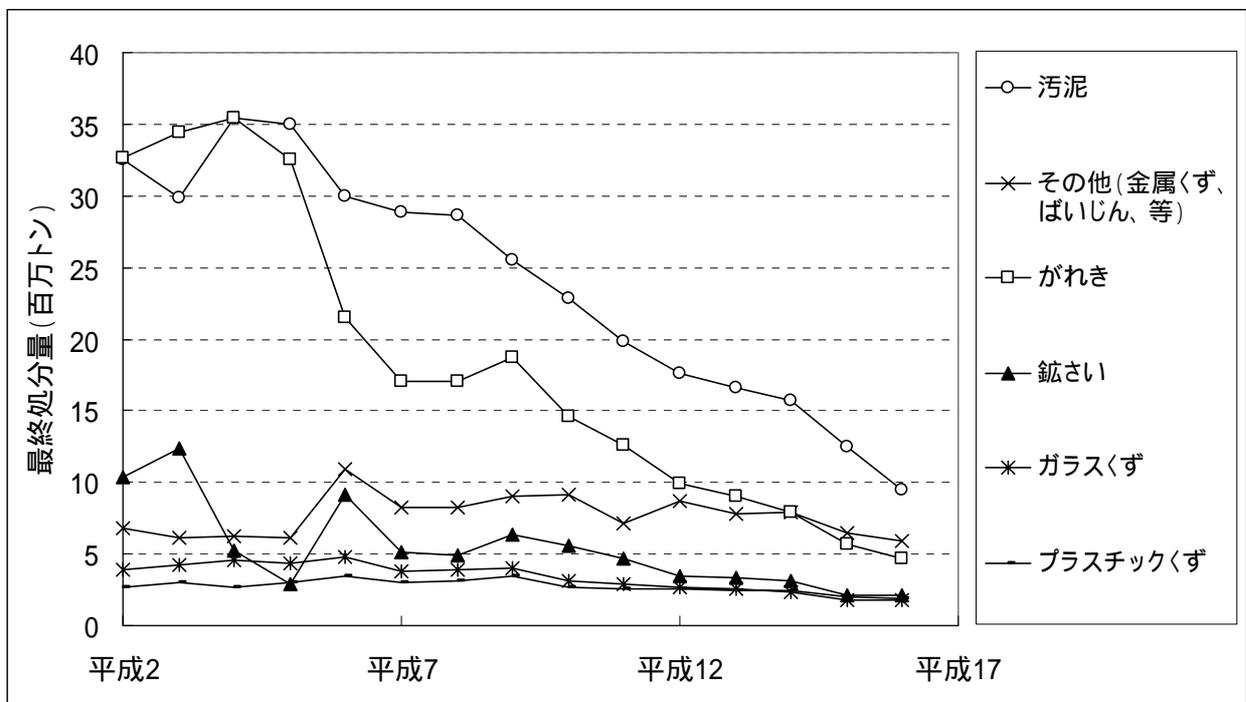


図 5 産業廃棄物の最終処分量 (速報値) の内訳の推移